

けいれん

発熱

せき

下痢

おう吐

腹痛

発疹

けが・虫さされ

口や歯のけが

やけど

熱中症

くすりの上手な  
飲ませ方

坐薬の使い方  
くすりのQ&A

誤飲・誤食

異物の  
吐かせ方

事故の予防

応急手当

救急車を  
呼ぶとき

救急医療の  
ご案内

# 腹痛

## ● 次の症状を観察

- 血便がみられる
- おまた(陰のう・股のつけ根)が腫れている
- お腹をぶつけた、もしくは打った後の腹痛
- お腹がパンパンに張っている
- 血液や胆汁混じり(緑や黄色)のものを吐いた
- お腹をさわると嫌がったり、痛がったりする
- 排便後も痛みが軽くない
- 発熱をともなう右下腹痛・吐き気やおう吐

ひとつでもあてはまる

**すぐに受診!**

(P29 参照)



- 元気があり、機嫌もよい
- 食欲がある
- 排便後は痛みが和らぎ、おう吐もない

すべてあてはまる

おうちで様子を見て  
通常の診療時間内に  
受診

症状が改善しない、  
悪化するようなら、すぐに受診

## 🏠 家庭での対応と注意点

- 軽い腹痛のときは、無理に食べさせないで水分を少しずつのませて様子を見る。
- お腹のおへそを中心に『の』の字を描くようにやさしくマッサージする。
- お風呂は強い腹痛がともなっていなければ大丈夫だが、炎症性の腹痛では悪化することがあるので注意する。
- こどもは消化器官が未発達で便秘を起こしやすい。まずは排便を促すこと。便秘の時は市販の浣腸薬を使用することもできる(右記参照)。

## 〈浣腸の仕方〉

※市販の浣腸液の説明書をよく読んで使用すること。  
浣腸前に浣腸液を湯せんにかけて、人肌に温めておく。

- ①こどもを横向き(左側が下になるよう)に寝かせる。  
(1歳未満はおむつをかえる時の姿勢)
- ②腰から下の部分にタオルを敷く。
- ③浣腸液の挿入部にオリーブオイルなどを塗り、肛門へゆっくり挿入する。  
力が入っていると挿入しにくいので、深呼吸をさせて、息を吐いているときに挿入する。
- ④浣腸液(目安…1~2ml/kg)をゆっくり注入する。  
こどもが痛がったり気分が悪くなったりしないか注意する。
- ⑤すぐにウンチをしたくなることもあるが、なるべく3~5分我慢したあと、  
トイレへ連れて行く。
- ⑥排便のあと気分が悪くなったりしないか30分~1時間様子を見る。



けいれん

発熱

せき

下痢

おう吐

腹痛

発疹

けが・虫さされ

口や歯のけが

やけど

熱中症

くすりの上手な  
飲ませ方

坐薬の使い方  
くすりのQ&A

誤飲・誤食

異物の  
吐かせ方

事故の予防

応急手当

救急車を  
呼ぶとき

救急医療の  
ご案内